

平成23年度 実施計画作成・事務事業評価（事後評価）シート

実施計画

1 基本事項

部等名	政策経営部	課等名	企画政策課	記入者名	小村郁則	内線	218
事務事業名	ツルと歴史のまち応援基金事業		事業期間	平成 20 年度 ~ 平成	年度		
総合計画上の位置付け	基本方針	健全で効率的な行財政運営を推進するまちづくり					
	施策	健全な財政運営の確保					
	細施策	財源の確保					
根拠法令・条例、関連計画等	地方税法（寄附金税制）、出水市ツルと歴史のまち応援基金条例及び施行規則						
予算細々目名			会計	款	項	目	細目
企画一般管理費（ツルと歴史のまち応援基金募集事業）			01	02	01	06	01

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

平成20年度に創設された国の「ふるさと納税制度」を活用し、広くふるさと納税の寄附金を募集し、寄附金を「出水市ツルと歴史のまち応援基金」に積み立て一般財源を確保するとともに、この基金を財源とした、本市の特徴である豊富な自然、ツル、武家屋敷など、地域資源の保全やこれらを生かした観光の振興、人材育成等の事業を行い、将来都市像「人と自然が融和したにぎわいある元気都市出水市」の創造に寄与する。

3 事務事業の概要

H22年度の事業概要	H23年度の事業概要・計画	H24年度の事業計画	H25年度の事業計画
○応援基金チラシ作成、発送、配布 ○前年度寄附者へ市の情報発信等事務 ○平成22年度寄附受入状況 ・出水市分 5,084,211円 ・県配分金 1,225,071円 ・運用利子等 12,718円 ○平成21年度積立額6,322千円 ○事業実施 税所邸公開用備品購入789千円 ○平成21年度末基金現在高 19,464千円	1 応援基金チラシ作成、発送、配布 2 前年度寄附者へ市の情報発信、「かごしま応援者証」交付事務等 3 応援基金の受入目標（3,000千円） 4 事業実施 ・医療機器購入費750千円 ・文化活動助成事業費400千円	1 応援基金チラシ作成、発送、配布 2 前年度寄附者へ市の情報発信、「かごしま応援者証」交付事務等 3 応援基金の受入目標（3,000千円） 4 基金を財源とした事業実施	1 応援基金チラシ作成、発送、配布 2 前年度寄附者へ市の情報発信、「かごしま応援者証」交付事務等 3 応援基金の受入目標（3,000千円） 4 基金を財源とした事業実施

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
主に県外の出水市出身者	寄附金の募集チラシを作成し、県外のみならず会会員等へのダイレクトメールやふるさと会等で、制度の周知と寄附のお願いをする。
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
<ul style="list-style-type: none"> ・主に都心部の居住地に納める個人住民税の一部を、「ふるさと納税」として出身地等への寄附行為により納めるというこの制度の趣旨を広く理解してもらい、多くの本市出身者へ寄附の賛同をいただく。 ・基金の事業目的とした4つの事業の財源を確保し、基金の設置目的に合った、適時適切な事業を行う。 	

事務事業評価（事後評価）

1 指標の推移

区分	指標名	単位	22年度実績	23年度目標	24年度目標	25年度目標	最終目標	
							年度	目標値
活動指標	① 募集チラシ・郵送	毎	2100	1650	300	300		
	②							
成果指標	① 出水市ソルと歴史のまち応援基金寄附額（単年度最低目標金額）	千円	6,322	3,000 (2,000)	3,000 (2,000)	3,000 (2,000)		
	② 基金を財源とした実施事業	数	1	2	2	2		

※ 活動指標…事業内容を示す数値(ボランティア講座開催回数、道路整備延長距離など)

※ 成果指標…施策・事務事業の目的達成度を示す数値(ボランティア実施者数、渋滞緩和率など)

2 評価

有効性	成果指標を向上させる余地はないですか	
	<input type="checkbox"/> ない	理由
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	制度の創設時から、時間の経過とともにふるさと納税への関心はだんだん薄れていくという懸念はあるが、繰り返し広報周知することにより、成果の向上の余地はあると思われる。ただし、費用対効果を見極める必要がある。
	廃止・休止した場合の影響はありますか	
<input checked="" type="checkbox"/> ある	理由	
<input type="checkbox"/> ない	市が募集をすることにより、平成20年度約590万円、21年度約615万円、22年度約508万円の直接寄附を受けており、財源確保の一つの手段となっている。制度自体は継続しても、募集を廃止・休止した場合は、寄附は確実に減ることが予想される。	
効率性	成果指標を下げずにコスト削減の余地はないですか	
	<input type="checkbox"/> ない	理由
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	本事業の経費は、チラシの作成、郵送料等の最低限の経費と思われるが、ダイレクトメールを寄附履歴者等に限定し、ふるさと会等でのPRやロコミ等の方法を充実することにより、コスト削減(郵便料)の余地はある。ただし、時間の経過とともに関心が薄れ寄附が減少していく懸念もある。
	類似事業の有無と統合の可能性はないですか(市以外の取組含む)	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	理由 市とは別に県では、「かごしま応援寄附金」事業を行っており、統合の可能性はある。ただし、県からの配分は寄附者が出水市を指定しても6割であり、市独自で募集を行うことで実績も上がっていることから、しばらくは並行して行い、今後の状況を見る必要がある。
市と受益者との負担割合は妥当ですか(受益者負担がある場合に記入してください)		
<input type="checkbox"/> はい	理由	
<input type="checkbox"/> いいえ	本事業には該当しない。	
その他	他の市町村では、実施している事業ですか	
	実施している。「あくね応援寄附金」「夢追いふるさと長島景観寄附金」など	

3 今後の方向性、改善案等(一次評価)

今後の方向性(総合評価)	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	国の「ふるさと納税制度」に合わせて平成20年度から開始した事業であり、今後も国の制度とともに、本市の制度の周知に努め、費用対効果を見極めながら、少しでも財源確保につながるように本事業を継続する。

4 今後の方向性、改善案等(二次評価)

今後の方向性(総合評価)	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	寄附金を募り、それを財源として環境の保全や人材育成、観光振興など、人と自然が融和したにぎわいある元気都市を創造するため継続とする。

5 今後の方向性、改善案等(最終評価)

今後の方向性(総合評価)	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	二次評価と同様に継続とする。今後においては、突発的な事業にも迅速に対応できるように予算の組み方を検討する。